様式Ⅱ－７　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （イノベーション創出強化研究推進事業）

（H30年度以降採択課題用）

平成　　年度　試験研究計画別成績検討会報告票

試験研究計画名：

研究統括者名　：

会議名　　　　：

会議開催日　　：

会議開催場所　：

外部アドバイザー名：

点検項目１：研究内容・成果の評価

点検項目２：会議での論点と外部アドバイザーからの指摘事項

点検項目３：構成員間・研究項目間の連携など人的・組織的な進行管理について

点検項目４：資金・経理面の進行管理について

点検項目５：その他、当該試験研究計画について運営委員会で検討すべき事項

提出先（メール提出）

|  |  |
| --- | --- |
| イノベーション創出課  （研究リーダー） | Inobe-t@ml.affrc.go.jp |

平成○○年度　試験研究計画別成績検討会報告票（記入例）

試験研究計画名：寒冷地畑作における・・・・・・

研究統括者名：○○　○○

　会議名：平成〇〇年度「寒冷地・・・・」試験成績・設計検討会議

　会議開催日：平成〇〇年　〇月〇日

　会議開催場所：○○研究所中会議室

外部アドバイザー名：○○　○○

点検項目１：研究内容・成果の評価（外部アドバイザーからの評価）

①　1年次の達成目標に関しては、ほぼ達成されているものと判断できるが、当該体系の確立に向けては新たに現地における○○に対応した試作機の改良が求められており、次年度研究項目２－３）において早急に対応が必要と判断される。

②　研究項目２－１）の○○の開発については初期の目標を既に達成しており、次年度はその実証データの積み上げに絞り込み、上記①にエフォートを回すような対応が期待される。

③　研究項目３－２）の○○地域における普及については、一層の対応の強化が必要と考えられる。

④　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

点検項目２：会議での論点と外部アドバイザーからの指摘事項

①点検項目１-①で記述した試作機の改良について担当者間での議論が交わされ、○○を△△とする方法も議論されたが、外部アドバイザーとして1年度で実施するためには××とする方向が適当と助言し、研究統括者がその方向(××)での実施をすると総括した。

②・・・・・・・・・・・

点検項目３：構成員間・研究項目間の連携など人的・組織的な進行管理について

①　研究項目２－１）の担当者ないしエフォート配分を一部２－３）に移して研究推進を図る必要があると判断し、研究統括者には指摘している。

②　研究項目３－２）の普及支援に関する協力機関については一層の協力を求めることが肝要であり、研究統括者において協議中である。

・・・・・

点検項目４：資金・経理面の進行管理について

①　研究項目２－３）の強化に向け２－１）の○○に係る経費の一部を２－３）の資材購入に・・・・・・・・・・・・・・

点検項目５：その他、当該試験研究計画について運営委員会で検討すべき事項

①研究項目４－１）については既に十分成果が上がっており、2年目の試験研究については繰り上げ完了とし、そのエフォート・試験は４－２）の強化に向けるのが適当と考えられ、研究統括者において協議中である。

②・・・・・・・・

提出先（メール提出）

|  |  |
| --- | --- |
| イノベーション創出課  （研究リーダー） | Inobe-t@ml.affrc.go.jp |